

相生市立図書館行事

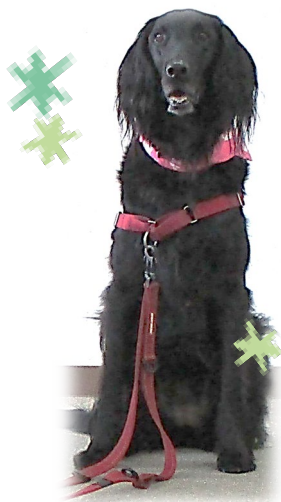
# 犬といっしょに 本を読もう！



犬について学ぶ「犬とのかかわり方教室」と、子どもたちがドクタードッグに絵本を読んであげる「犬への読み聞かせ体験」の二本立ての行事です。

音読がにがてな子も、はずかしがりやさんも、犬にならあんしんして読み聞かせができます。まちがえても、つかえても、だれも注意しません。

本好き・犬好きはもちろん、本を読むのがとくいじゃない子、ふだんはあまり図書館に来ない子も、だいかんげいです。



日時：令和3年2月7日（日）10：30～12：00

場所：相生市立図書館 3階 視聴覚室

対象：小学生以上（保護者同伴可）6名

申込：相生市立図書館 窓口または電話 0791-23-5151

先着順・要申込 1月13日（水）9：00から受付

指導・協力：兵庫県動物愛護センター 龍野支所

NPO法人ペット・フォー・ライフ・ジャパン

キリトリ

2021年2月 「犬といっしょに本を読もう！」申込書

名前	年齢	電話番号	アレルギー	写真撮影
	歳		ある ・ ない	可 ・ 不可 (※)

※撮影した写真は、NPO 法人ペット・フォー・ライフ・ジャパンの広報誌、相生ライフ、広報あいおい、相生市立図書館ホームページなどに掲載する可能性があります。

# どうして犬への読み聞かせ？

「犬への読み聞かせ」は「<sup>リード</sup> R.E.A.D. (<sup>リーディング</sup> Reading <sup>エデュケーション</sup> Education <sup>アシスタンス</sup> Assistance <sup>ドッグ</sup> Dog) プログラム」(動物介在読書プログラム) といって、1999 年にアメリカの図書館で始まった取り組みです。

本を読むことが苦手な子は、音読の時間がどんなにゆううつでしょう。先生や友達から読み間違いを指摘されたり、笑われたり…。本を読むことが嫌いになるでしょうし、自信を失ってしまうかもしれません。

そんな子どもが、人目を気にせずのびのびと音読できるように、と考えられた方法がリード・プログラムです。

間違えたり、つかえたり、大きな声が出なくても、犬たちは注意せず穏やかに聞いてくれます。人間相手では緊張してしまう子ども、犬にならリラックスして音読ができるかもしれません。

相生市立図書館では、兵庫県動物愛護センター龍野支所、NPO 法人ペット・フォー・ライフ・ジャパンの指導、協力を得て、2019 年から「犬への読み聞かせ体験」の行事を実施しています。

お申込み、お問い合わせは、相生市立図書館まで。

